

日本共産党区議会議員 おぐり智恵子の

議員活動報告

自宅：中央区日本橋浜町3-41-5-1002  
Tel/Fax 3249-1762

発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563  
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

●質問全文は区議団HPを  
ご覧ください



レポート  
No. 322

区議会第2回定例会一般質問

# 大企業減税の穴埋めの消費税増税にきっぱり反対を



復興小学校の一つ明石小学校

区議会第二回定例会で、6月21日、田辺七郎議員とまりこ勝彦議員が日本共産党区議団を代表して本会議で一般質問を行いました。

## 反省なしの菅内閣増税計画

田辺議員は、新たに発足した菅内閣の政治姿勢について区長の見解を求めました。

菅首相は、消費税率10%の増税と大企業減税をセットで打ち出しました。大企業減税の穴埋めのための消費税増税計画です。消費税は所得の少ない人

ほど負担の重い、最悪の大衆課税です。庶民を苦しめ、景気低迷に拍車をかける消費税増税について区長に質問しました。

区長は「97年に税率が5%に引き上げられた際、消費の冷え込みを招き、景気の低迷を長引かせる要因になった。消費税については税制の抜本改革の中で慎重に検討されるべきものと考ええる」「消費税が最悪とか困った人をいじめる税金とは思わない」という答弁でした。田辺議員は増税にきっぱり反対するよう求めました。

## 復興小学校改築の再検討を

まりこ

議員は、重要な文化資産としての復興小学校について質問。

復興小

学校は関東大震災（1923年）後に復興事業の一つとして、当時の東京市が一元的に設計し、東京で117校建てられました。現在19校しか残っていません。そのうち7校が中央区内にあり、日本建築学会などが「復興小学校は保存すべき高い価値を有している」として保存を要望しています。

まりこ議員は、現在改築計画が進められている明石・中央・明正小学校について、拙速に現行の改築計画を進めることはしないで、日本建築学会の学問的調査の結果を待つて、様々な提案も受けてから十分に検討すべきだ主張し、区長に見解を求めました。

区長は「日本建築学会の要望は復校小学校を後世に継承する特別の配慮を願うという主旨。明石・中央については解体前に記録を残し、階段の手すりなどの一部保存など工夫する。改築計画は進める」と答弁。まりこ議員は再考を求めました。

# 消費税を持ち出した民主党政権に「ノー」の審判

## 日本共産党 比例3議席獲得

### 中央区での比例得票数

政党名	得票数
民主党	17,838
自由民主党	13,491
みんなの党	11,616
公明党	3,982
日本共産党	3,609
社会民主党	1,929
たちあがれ日本	1,929
新党改革	1,666
日本創新党	1,191
国民新党	885
女性党	312
幸福実現党	182

7月11日に投票が行われた参議院選挙で、与党が過半数を割り、政権交代後10カ月の民主党政権に厳しい審判が下され

政局は流動的です。日本共産党は、政治のゆがみを正し、暮らしを応援する政治を実現するために、これからも力を尽くす決意です。

万票を獲得し、3議席を確保。田村智子さんが初当選しましたが、改選4議席には届きませんでした。東京選挙区は大激戦の中、小池あきら党政策委員長の議席確保はなりませんでした。



田村智子



大門みきし



市田忠義

ました。米軍普天間基地の問題や「政治とカネ」の問題で国民の期待を裏切り、その上、大企業減税とセツトの消費税増税を持ち出し、菅内閣の支持率が急落、改選54議席が44議席になりました。



### 子宮頸がんワクチン

### 予防接種の全額助成実現

◎7月末から開始

中央区は、区内在住の中学生1年生から3年生までの女性（約960人）を対象に、7月末からワクチン接種の全額助成を開始します。一人当たり5万6千円、初年度は接種者を4割と想定して、所要経費を2900万円と見込んでいます。

の受診率が、昨年は国の無料クーポン券制度があっても下がっていることから、受診率を上げるためいっそう普及啓発も取り組むよう求めました。さらに、小児用肺炎球菌ワクチン接種への助成を要望しました。

◎国の公費助成を要望する  
意見書を提案

周知方法として、区立中学校での「出前講座」、私立中学生の保護者へ「説明会」を行います。対象者全員に予診票を郵送し、女性のがん検診の普及啓発を図るリーフレットを同封します。

日本共産党区議団は6月議会で「ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がんの予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書（案）」を区議会幹事長会に提案しました。

◎がん検診の受診率向上を

6月9日の区議会福祉保健委員会、私（おぐべり智恵子）は、ワクチン接種の全額助成を評価するとともに、本来はどここの自治体でも無料で受けられるよう、国や都に対して要望するよう求めました。

本区では、ヒブワクチンも昨年十二月から一部助成を実施していますが、本来は国の責任で行うべきで、意見書では「ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がんの予防ワクチン接種について、国の公費助成をすみやかに実施するよう」求めています。

あわせて、女性のがん検診

しかし他会派の賛同が得られず、今回は本会議への上程が見送りとなりました。